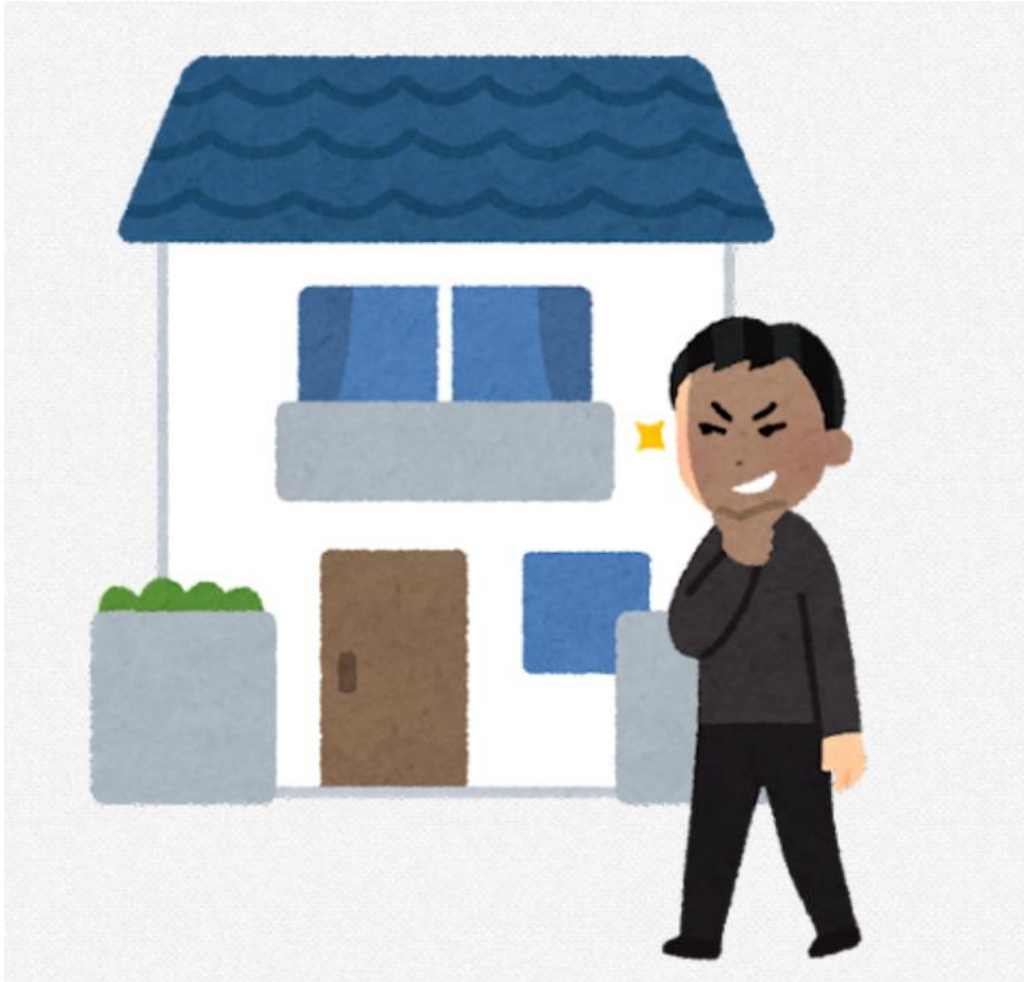


ふ じ ん
おせっかい夫人



げんさく おかもと こ
原作：岡本かの子

https://www.aozora.gr.jp/cards/000076/files/46921_33260.html

か か ひと たばた みつえ
書き換えた人：田畑サンドーム光恵

はなし つく てつだ ひと たなかま みせんせい
お話を作るのを手伝ってくれた人：田中麻美先生

ぞんじ
イラストは、ご存知「いらすとや」さん：<https://www.irasutoya.com/>

ある^は晴れた^{はる}春^ひの日でした。



花子^{はなこ}さんは家^{いえ}に一人^{ひとり}でいました。

花子^{はなこ}さんのご主人^{しゅじん}は9時^{くじ}ごろ出^でかけました。

「いいお天気^{てんき}だわ。」と言^いって、花子^{はなこ}さんは、花^{はな}を見^みに庭^{にわ}に出^でました。

桜^{さくら}の花^{はな}がたくさん咲^さいています。とてもきれいです。



はなこ み さくら はな
花子さんが見ていると、桜の花が、ガサ
うご
ガサと動きました。

とり
「あら、鳥かしら？」

はなこ さくら はな うし み
花子さんは、桜の花の後ろを見ました。そ
となり くにえだ にわ
こは、隣の国枝さんの庭です。

くにえだ にわ よんじゅっさい
すると、国枝さんの庭に、40歳くらい
おとこ ひと はなこ み
の男の人がいました。花子さんを見ると、
おとこ ひと い
その男の人はこう言いました。

わたし くにえだ ゆうじん くにえだ
「私は、国枝さんの友人です。国枝さん
か あした りょこう
にかばんを貸しましたが、明日から旅行に
い かえ
行くので、そのかばんを返してほしいんで
くにえだ いえ こま
す。でも、国枝さんが家にいないので、困
っています。」

はなこ しんせつ
花子さんは親切ですが、とてもおせっか
いです。

はなこ くにえだ じごろ で
花子：「国枝さんは、10時頃みんなで出か
けましたよ。夜まで帰って来ません。」

よんじゅっさい おとこ ひと こま
40歳くらいの男の人：「どうしよう。困っ
たなあ。。。」

はなこ あ
花子：「開いているドアがあるかもしれま
せん。一緒に見てみましょう。」

ふたり くにえだ いえ ぜんぶ み
二人は、国枝さんの家のドアを全部見ま
した。でも、開いているドアはありません
でした。

はなこ こま ぜんぶ し
花子：「困ったわねえ。ドアは全部閉まって

いますね。。。

あ、ちょっと待^まってください。あそこ！

お風呂^{ふ ろ ば}の窓^{まど}が開^あいていますよ！」

花子^{はな こ}さんは、その男^{おとこ}の人^{ひと}がお風呂^{ふ ろ ば}の窓^{まど}から中^{なか}に入^{はい}れると思^{おも}いました。でも、お風^ふ呂^ろ場^ばの窓^{まど}は高^{たか}い所^{ところ}にあります。

花子^{はな こ}さんは、しばらく考^{かんが}えて、言^いいました。

花子^{はな こ}：「だいじょうぶです。前^{まえ}の田中^{た なか}さんの家^{いえ}から、ハシゴ^かを借^かりてきましょう。」

そう言^いうと、花子^{はな こ}さんは田中^{た なか}さんの家^{いえ}に行^いきました。そして、ハシゴ^かを借^かりて、帰^{かえ}っ

て来ました。

花子：「さあ、このハシゴで

お風呂場の窓から、家の中

に入れますよ。」



40歳くらいの男の人が、ハシゴを登っ

ているとき、花子さんはハシゴをしっかりと

と押さえてあげました。男の人は、無事に

お風呂場の窓から家の中に入りました。

30分くらい経ちました。国枝さんの家

のドアから、40歳くらいの男の人が出て

きました。大きなかばんを持っています。

かばんには、たくさんの物ものがはい入っています。



男おとこのひと人は、ニヤッと笑わらってど
こいかに行いってしまいました。

花子はなこさんは、お風呂場ふろばの窓まどの下したで、まだ
ハシゴおさを押おさえています。

花子はなこ：「まだおそかしら。遅おとこいわねえ。あの男おとこの
人ひと、カバンみがみ見つからないのかしら。」

実は、花子はなこさんが手て伝つってあげた人ひとは、
最近さいきんお金持かねもちの家いえからたくさんの物ものを盗ぬす
んでどろぼういた泥棒どろぼうだったのです。 (703 語)